



厚生委員会視察



建設経済委員会視察

加西病院

Q 加西病院の現状と今後の方向性は。

A 昨年の12月から患者尊重・良質医療・健全経営を基本方針として運営している。国の保健医療費削減政策により加西病院に限らず自治体病院の経営は苦しいものとなっている。

加西病院のベット数は現在三百二であるが、厚生統計によると自治体病院の経営ではベット数が二百床から四百床の規模が赤字になりやすいと示されている。平成22年には現在全国にある約百の急性期病床が半分になるとさえいわれている中で加西病院が市民ニーズにこたえられる病院として生き残るためには、現在進めている入院機能の特化等による高度医療化や病診連携は必要不可欠である。

加西病院が急性期一般病院として運営しているのは前記のとおり市民が病院に一番望む「救急医療」を存続させていくためである。高齢化社会を考えれば療養、介護も

必要と考える。

今後も高度医療を実現するために病診連携や厚生労働省の臨床研修病院等の施策を促進していく。また、日本医療評価機構から一般Bの機能評価を受けたことは加西病院の目指す高度医療が具現化したものであると解釈している。



まちづくり構想

Q まちづくり構想の重点施策は。

A いきいき人づくりプラン・健康都市推進プランなど十の重点施策を設定している。また、個別施策についても来年度から導入予定の政策評価を取り入れ、公平・平等性を重視した施策を行い、第四次総合計画の基本目標である「花と歴史と愛のまちかさい」を念頭に踏まえ、将来的に活力

とゆとりに満ちたふるさと夢都市を実現していく。



教育問題

Q 学校五日制の効果と問題点は。

A 児童、生徒及び保護者からは「総合的な

学習だけでなく幅広い学習が身についた」等の声もあり学校週五日制の目的である児童、生徒等の家庭や地域社会における生活時間の比重を高め、生活にゆとりを与え自主的な活動や様々な体験の機会の創出が実現できている。
特に突出した問題点はないが、新聞紙上では、学力低下を心配することも言われている。今後、県が調査すると考えられるのでその結果に基づいて対応していきたい。

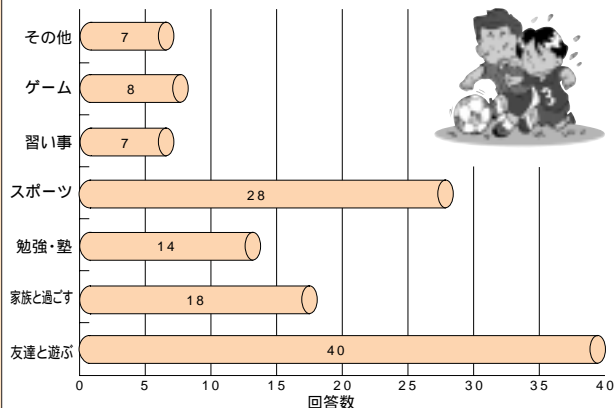
ちょっと気になる

議会アンケート

～加西っ子議会議員編～

8月の5日に市内の小学校児童による加西っ子議会が開催されました。加西っ子議会終了後に小学生議員のみなさんに提出していただいたアンケート結果の一部を紹介します。

Q:土曜日が休日となってどのようにすごしていますか。(複数回答)



急性期病床

急性期病院(病床)とは、「高度な検査」「救急医療」「集中的・入院治療」などの機能を待ち、積極的な治療が必要とされる病状が不安定な患者さんに、高度な医療を提供する病院(病床)をいいます。